別紙１

**技能五輪全国大会の概要**

１　目　的

青年技能者がその技能レベルの日本一を競うことにより、国内の青年技能者の技能水準の向上を図り、併せて技能尊重気運の醸成を図ることを目的とする。

２　主　催

　　厚生労働省、事業受託団体及び開催都道府県

３　これまでの開催経緯

　・第１回大会（昭和３８年）から首都圏を中心に毎年開催

・第２９回大会（平成３年愛知県開催）以降は、可能な限り開催都道府県と共催で開催

（参考：近年の開催地）

・第４７回大会（平成２１年）茨城県

・第４８回大会（平成２２年）神奈川県

・第４９回大会（平成２３年）国単独開催（開催地：静岡県等）

・第５０回大会（平成２４年）長野県

４　今後の予定

　・第５１回大会（平成２５年）国単独開催（開催地：千葉県等）

　・第５２回大会（平成２６年）愛知県

　・第５３回大会（平成２７年）国単独開催（開催地：調整中）

　・第５４回大会（平成２８年）山形県

　・第５５回大会（平成２９年）栃木県

　　（※）第５１、５３回大会は、共催を希望する都道府県がなかったことによる。

５　競技職種・選手参加者数（第５０回大会実績）

　・競技職種：４０職種

　　　機械組立て、抜き型、精密機器組立て、メカトロニクス、機械製図、旋盤、フライス盤、構造物鉄工、電気溶接、木型、自動車板金、曲げ板金、配管、電子機器組立て、電工、工場電気設備、石工、左官、家具、建具、建築大工、貴金属装身具、フラワー装飾、美容、理容、洋裁、洋菓子製造、自動車工、西洋料理、造園、和裁、日本料理、レストランサービス、車体塗装、冷凍空調技術、ＩＴネットワークシステム管理 、情報ネットワーク施工、ウェブデザイン、とび、時計修理

　・選手参加者数：１，０９７人

６　参加資格

・　原則として、大会開催年に２３歳以下であること。